

周南市上下水道局業務委託指名競争入札心得

(目 的)

第1条 周南市上下水道局の発注する測量・建設コンサルタント等業務委託（条件付一般競争入札によるものを除く。）に係る競争入札契約を行う場合における入札その他の取扱いについては、地方自治法、地方自治法施行令、周南市上下水道局会計規程、周南市契約事務規則、周南市上下水道局電子入札実施要領、その他の法令に定めるもののほか、この心得の定めるところによる。

(入札等)

第2条 入札参加者は、設計図書、実施場所等を熟覧のうえ、入札しなければならない。この場合において、設計図書、実施場所等について疑義があるときは、指定期日までに業務内容質問書を提出することができる。

2 入札書（様式第1号）に所定の事項を記入し、記名押印し、業務の名称を表記した封筒に入れ、提出しなければならない。

3 入札参加者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。

4 入札参加者は、代理人をして入札させるときは、入札参加者及び代理人の記名押印がある委任状を必ず持参させなければならない。ただし、入札書に入札参加者の記名押印があれば、入札参加者が入札したものともみなす。

5 入札参加者又は入札参加者の代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。

6 入札参加者は、地方自治法施行令第167条の4第2項の規定に該当する者を入札代理人とすることはできない。

(入札の辞退)

第3条 指名を受けた者は、入札執行の開札に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。

2 指名を受けた者は、入札を辞退するときは、その旨を、次に掲げるところにより申し出るものとする。

- (1) 入札執行前にあっては、入札執行担当課へ入札辞退届を直接持参し、又は郵送（入札日の前日までに到達するものに限る。）して行う。
 - (2) 入札執行中にあっては、入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する者に直接提出して行う。
- 3 前項により提出した辞退届は、撤回をすることはできない。
 - 4 入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではない。

（公正な入札の確保）

第4条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律等に抵触する行為を行ってはならない。

- 2 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。
- 3 入札参加者は、落札者の決定の前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

（入札の取りやめ等）

第5条 入札参加者が連合し、又は不穏な行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

- 2 入札の辞退、指名の取消し又は不参加等により入札参加者が1人の場合には、入札を執行しない。

（入札の無効）

第6条 次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 競争入札に参加する資格を有しない者のした入札
- (2) 入札参加者及び代理人の記名押印がある委任状を持参しない代理人のした入札。ただし、入札書に入札参加者の記名押印があれば、入札参加者が入札したものとみなす。
- (3) 所定の入札保証金又は保証金に代わる担保を納付又は提供しない者のした入札

- (4) 入札書等に発注者名、商号又は名称、押印のいずれかがない入札
- (5) 金額を訂正した入札
- (6) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭な入札
- (7) 同一人が同一事項の入札について2通以上した入札
- (8) 同一事項の入札について他人の代理人を兼ね、又は2人以上の代理をした者の入札
- (9) 指定した方法によらないで提出された入札
- (10) 第8条第4項により最低金額が通知されている場合、その最低金額以上の入札
- (11) その他入札に関する条件に違反した入札
(落札者の決定)

第7条 入札を行った者のうち、予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって入札したものを落札者とする。

- 2 落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちにくじにより落札者を決定するものとする。
- 3 前項の場合において、当該入札者のうちでくじを引かないものがあるときは、これに代えて、入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

(再度入札)

第8条 開札をした場合において、各人の入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。

- 2 再度入札は、原則として2回を限度として行う。
- 3 初度の入札に参加しなかった者及び直前の入札が第6条の規定により無効となった者は、再度入札には参加できない。
- 4 第1項により再度の入札を行う場合は、その最低金額を通知するものとする。

(落札した場合の契約の手続き)

第9条 落札した者は、落札決定後速やかに、契約担当者等から交付された契約書案に記名押印し、契約担当者等に提出しなければならない。

(異議の申立て)

第10条 入札を行った者は、入札後、この心得、設計図書、実施場所等
についての不明を理由として異議の申立てはできない。

(その他)

第11条 入札執行宣言から入札執行終了宣言までは、私語及び誤解をま
ねくような不審な行為をしてはならない。

附 則

この心得は、平成22年1月22日から施行する。

附 則

この心得は、平成22年4月13日から施行し、施行日以降に指名通知
する入札について適用する。

附 則

この心得は、平成23年4月1日から施行し、施行日以降に指名通知す
る入札について適用する。

附 則

この心得は、平成26年3月10日から施行し、施行日以降に指名通知
する入札について適用する。

附 則

この心得は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この心得は、平成29年4月1日から施行し、施行日以後に指名通知す
る入札から適用する。

附 則

この心得は、令和4年4月1日から施行し、施行の日以後に指名通知する入札に
ついて適用する。